

地域参加型道徳授業！

2月9日（火）2年生で実施！

「泣いた赤おに」で友情について考えました。

【あらすじ】

人間たちと仲良くしたい赤おに。でも、人間たちは怖がって誰も近づこうとしません。見かねた青おには自ら悪役を買ってでます。青おにのお陰で赤おにはたくさんの友達ができるのですが、青おには村を出ていきました。「もし、ぼくが、このまま君と付き合っていると、君も悪い鬼だと思われるかもしれません。それで、ぼくは、旅に出るけれども、ぼくはどこまでも君の友達です」という手紙を残して。



二人は本当の友達でしょうか？
友情について考えました。



山口ケーブルビジョンの取材もありました。

翌日、授業検討会を行いました。



山口大学大学院教育学研究科の松岡敬興准教授をお招きし、ご指導いただきました。

授業には17名の地域の方の参加があり、生徒の思考が深まりました。検討会にも2名の参加があり、授業づくりについて一緒に考えました。

